

**問題1**

(1) シーホース シードラゴン 海馬  
ついでに

(2) シーホース シードラゴン 海馬

**【例】**ドラゴンや馬にしているすがたを  
しているから。

**【例】**すがたがにていることから名前を  
つけていること。

**【解説】**  
日本ではよはれたた、外国のよはれたたは、  
とんちが同じでしょう。

「名前が姿に由来している」という内容が書かれている。

ねらい

説明されている内容を、正確に読み取っていくと同時に、比較して書かれている事柄を「同じ」「違」「と」の観点で整理していきます。

**問題2**

**困ったときの声のかけ方**

**【問題】** て読み取った「シーホース、日本での呼び名の由来を重ね合わせてみる」と、「シーホースも姿から由来した名前である」ということがわかります。もう一度改めて日本での呼び名を見直すように「日本ではどうしてタツノオトシゴと呼ばれるのかな？」などと声をかけてみましょう。

**問題1**

タツノオトシゴと魚のちがうところ

**【例】**すがた  
泳ぐのが得意ではない。  
尾びれがほとんどない。

タツノオトシゴと魚の同じところ

**【例】**「きゅううのためのえらがある。  
泳ぐときに、むなびれや背びれでバランスをとる。」

「えの」「むなびれ」「背びれ」について書かれている。

「すがた」「泳ぐ」「尾びれ」について書かれている。

ねらい

読み取った内容を自分なりにわかりやすく整理しながら文章に書き直すための準備として、「同じ」と「違」と「と」という観点に沿って情報を整理していきます。表で整理していくことで、やや複雑な内容もすっきりとわかりやすくなり、思考の筋道がはっきりと見えてくるものです。

**問題2**

**困ったときの声のかけ方**

②段落と③段落を読み取って整理する「**【問題】**のねらいですから、」②段落と③段落では、それぞれ何を比べているのかな？」と、それぞれの段落について丁寧に読み取ってから表に整理してみるように促してみましょう。